

第3回 献血活動



平成 25 年 3 月 22 日 (金)

於：中部遊商 1 階エントランス・2 階会議室

今年で第 3 回目となる献血活動が今年も開催されました。

多数のご参加ありがとうございました、医療現場では、まだまだ血液が必要とされております、組合でも継続的に献血活動を行って行きますので、これからもぜひ、ご理解とご協力をお願いします。

献血サポーターとしての取組

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力できる企業や団体のことを「献血サポーター」と言います。

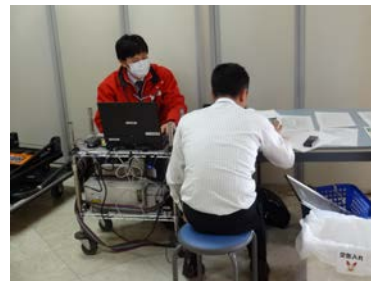
中部遊商にて社会貢献活動の一環として献血サポーターへ参加しまして今年で 3 年が経ちました、また来年度も活動を行いますので皆様もぜひご参加ください。



今年度の様子。



最初は受付から・・・。



次に検査を受けます。



大丈夫かな？



診察を無事に終えて・・・。



いよいよ採血です。



ご協力、ありがとうございました。

今回ご協力頂きました組合員・・・

(株)ライズ	(有)丸三商会	(株)名古屋商事	(株)日新
(株)伸榮	(有)セイコー産業	(有)金森遊機	(有)畑商会
フィールズ(株)名古屋支店	(株)メイセイ	(有)大橋商会	(有)佐藤商会
武橋商事(株)	(有)ラック	(株)サン物産	(有)小原商事
(株)チューリップ	(有)東海遊技機販売	(有)ユニックス・エンタテインメント	(株)アーバンシステム
(株)ナルコ	(有)平和	(株)三宝商会	(株)東和
リープラント(株)	(有)アミューズ	(株)ニューギン販売名古屋支店	中部遊商事務局一同

今年度は27社 70名のご協力をいただきました。

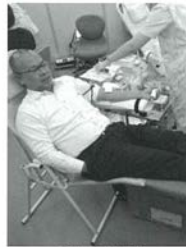


多数のご協力、ありがとうございました。

月刊遊技経済 4月号掲載



組合員70名が参加



採血の様子



3月22日・同組合会議室

中部遊技機商業協同組合（安藤利彦理事長）では3月22日、名古屋市中区の組合事務局において、組合員を対象にした第3回献血活動を実施した。同組合では以前よりエコドラー講習等、社会貢献活動を展開して、今年度は3月22日、名古屋市中区の組合事務局において、組合員を対象にした第3回献血活動を実施した。同組合では以前よりエコドラー講習等、社会貢献活動を展開して、今年度は3月22日、名古屋市中区の組合事務局において、組合員を対象にした第3回献血活動を実施した。同組合では以前よりエコドラー講習等、社会貢献活動を展開して、今年度は3月22日、名古屋市中区の組合事務局において、組合員を対象にした第3回献血活動を実施した。

(株)ライズ	(有)丸三商会	(株)名古屋商事	(株)日新
(株)伸榮	(有)セイコー産業	(有)金森遊機	(有)畑商会
フィールズ(株)名古屋支店	(株)メイセイ	(有)大橋商会	(有)佐藤商会
武橋商事(株)	(有)ラック	(株)サン物産	(有)小原商事
(株)チューリップ	(有)東海遊技機販売	(有)ユニックス・エンタテインメント	(株)アーバンシステム
(株)ナルコ	(有)平和	(株)三宝商会	(株)東和
リープラント(株)	(有)アミューズ	(株)ニューギン販売名古屋支店	中部遊商事務局一同

献血参加各社一覧

娯楽産業 4月号掲載

中部遊技機商業協同組合安藤利彦理事長は3月22日、組合事務局において、目に見える社会貢献の一環として、震災後3回目となる組合員対象の献血活動を実施した。一昨年の3月11日の東日本大震災発生直後に実施した献血活動も今年で3回目となり、組合員には定着しつつある社会貢献活動となった。当日、組合事務局では朝から組合員が三々五々集まり、受付人数では70名が参加。献血人数は200ミリリットル4名、400ミリリットル55名の計59名となり、献血量は2万2800ミリリットルと昨年比べて大幅に増加した。献血者の中には普段は朝食を摂らないが、今日は献血があるため朝食を食べたという人もおり、献血活動が組合員に浸透している。組合では献血の他にエコドラー講習も継続実施しており、地道な活動であるが、着実に成果が出る社会貢献を進めている。安藤理事長はこうした目に見える社会貢献活動はこれからも組合の活動として続けていきたい。東日本大震災の事を風化させる事なく、我々が出来る社会貢献を確実に行っていきたいと語った。

震災後、3回目となる
献血活動を実施



TOPICS

「献血サポーター」で社会貢献 中部遊商が恒例の献血を実施



組合員、事務局関係者ら70名が参加した

中部遊商は3月22日、名古屋市内の事務局1階エントランスにおいて、恒例となっている組合員による献血活動を行った。今年で3回目となる社会貢献活動に対して、組合員や事務局関係者ら70名が参加した。

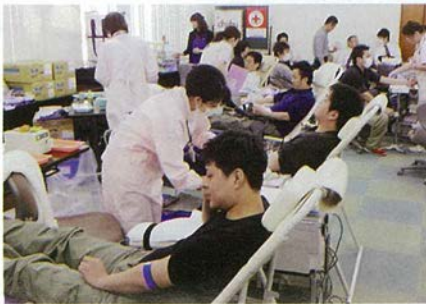


採血を行う中部遊商組合員

「献血サポーター」に登録している。今回の献血もその活動の一環。組合ではホームページなどで活動を報告するとともに「医療現場ではまだまだ血液が必要とされている。組合でも継続的に献血活動を行う」などとメッセージを寄せた。

中部遊商は3年前から、医療に必要な血液の安定確保を図るために献血に積極的に協力できる企業や団体「献血サポーター」に登録している。今回の献血もその活動の一環。組合ではホームページなどで活動を報告するとともに「医療現場ではまだまだ血液が必要とされている。組合でも継続的に献血活動を行う」などとメッセージを寄せた。

週刊アミューズメントプレスジャパン 4月8日掲載



採血された血液は22・8リットルに上った

中部遊技機商業協同組合は3月22日、組合事務局で愛知県赤十字献血センター協力の下、献血活動を実施。27社、70名が献血に参加した。同組合は3年前に、医療に必要な血液を安定的に確保するため、献血に積極的に協力する「献血サポーター」に参加している。

**中部遊商
献血活動に協力
27社70名が参加**